

建築学科 専門教育科目の履修の流れ (建築システムコース)

| 建築学科 学習・教育目標 | |
|---|----------|
| 実践的な技術に支えられた自信と柔軟な発想力で、東北、日本、そして国際社会に貢献できる建築家および建築技術者を養成することを旨とし、一連の専門科目を通して以下に示す“7つの学士力”を身につけられるように教育することを目標とする。 | |
| ①建築学基礎 | ②建築設計 |
| ③建築計画・意匠・歴史 | ④建築構造 |
| ⑤建築材料・生産 | ⑥建築環境・設備 |
| ⑦建築学総合 | |

| 建築システムコース 学習・教育目標 |
|--|
| 理数的解析力、問題発見力、調査力を伸ばし、実践的な視点で安全で快適な建物を企画・提案できる設計者を養成する。 |

必修科目 選択科目

| 科目群の学習・教育目標 | |
|-------------|--|
|-------------|--|

| | |
|----------------------|---|
| 建築学基礎 及び 建築学総合 | 数学や物理、建築に関する基礎知識を学び、法規や経済などの面から建築学各分野の統合能力を身に付ける。 |
|----------------------|---|

| | |
|-------------------|--|
| 建築計画 ・ 建築設計 | 社会や地域の状況を理解しながら、建物の機能的要求や利用者の生活上の要求を充足するための計画理論と、設計するための手がかりとなり得る計画的知見を修得する。さらに、それらを踏まえながら、創造的に建築空間を設計・提案することができるデザイン力とプレゼンテーション力を身に付ける。 |
|-------------------|--|

| | |
|------|---|
| 建築表現 | 建築分野におけるコンピュータ利用法と建築CADによる表現技術の基礎を習得する。 |
|------|---|

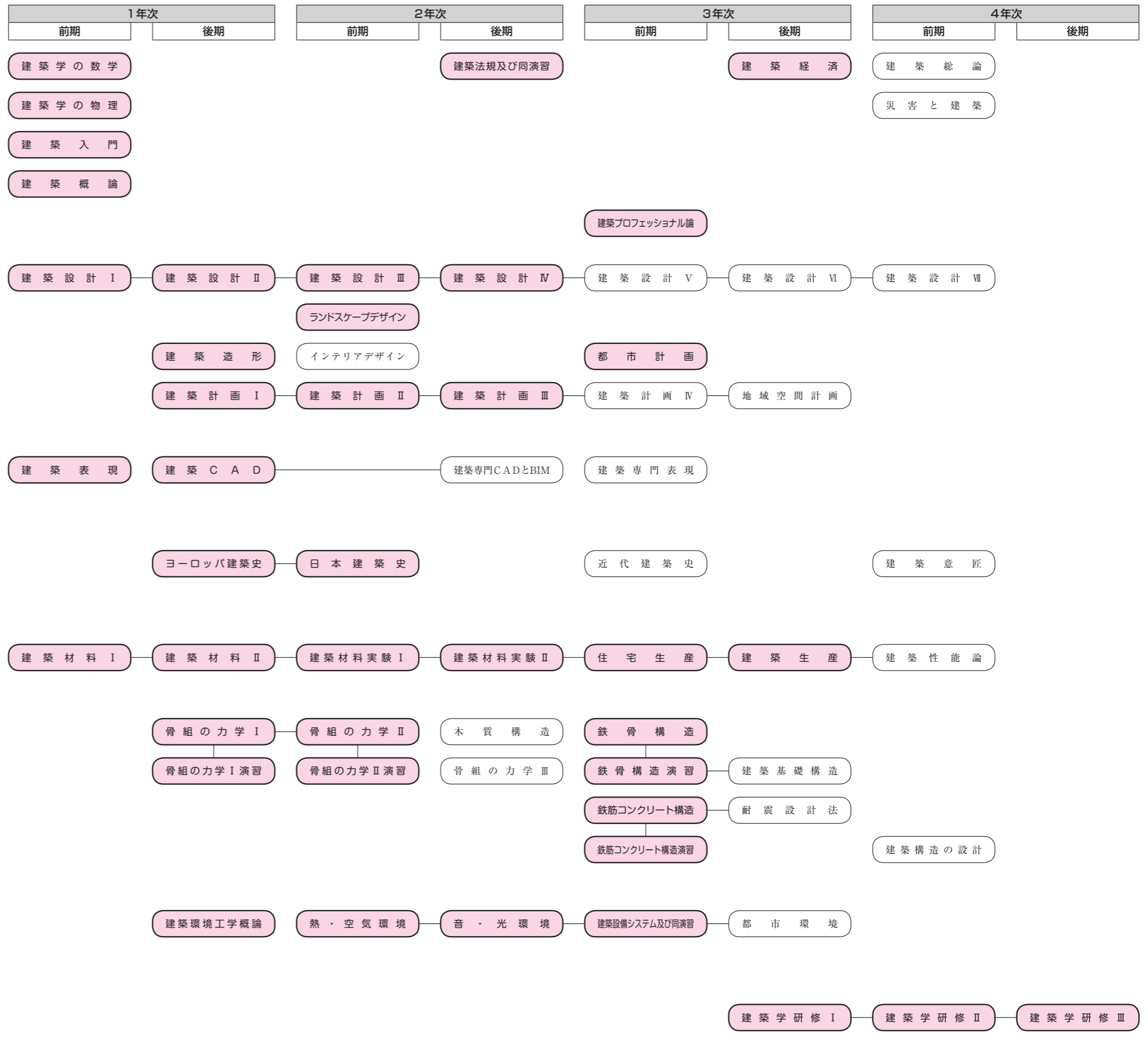
| | |
|-------|---|
| 歴史・意匠 | 建築の歴史について、ヨーロッパと日本、明治以降の近代に分けて、主に様式史について学び、木の文化と石の文化についても考える。 |
|-------|---|

| | |
|-----------------|--|
| 建築材料 ・ 生産 | 建築物を構成する構造材料や仕上材料についての基礎知識を修得後、それらを用いて実際に建築物を造り上げるために必要となる生産技術や生産管理技術について学ぶ。 |
|-----------------|--|

| | |
|------|---|
| 建築構造 | 建物の安全性確保や機能維持を実現するのに必要な力学の基礎知識を修得する。また、各種構造や構法の最新技術について学び、近年多様化しつつある建築構造設計の原理を理解することができる。 |
|------|---|

| | |
|-----------------|--|
| 建築環境 ・ 設備 | 建築における快適性と機能性の確保や、省エネルギーを実現するのに必要な基礎知識を修得する。また、火災時の煙流動や延焼に対する備え、建築外部空間や都市環境に関する基礎知識を修得するとともに、地球環境時代に建築が果たすべき役割を総合的に理解することができる。 |
|-----------------|--|

| | |
|----|--|
| 研修 | 卒業研修の活動を通して企画力・提案力・分析力・表現力などの力を養い、広く社会に適用する人間力を育み、社会に貢献するための確かな自信を身に付ける。 |
|----|--|



建築学科 専門教育科目の履修の流れ (建築デザインコース)

| 建築学科 学習・教育目標 | |
|---|----------|
| 実践的な技術に支えられた自信と柔軟な発想力で、東北、日本、そして国際社会に貢献できる建築家および建築技術者を養成することを目指し、一連の専門科目を通して以下に示す「7つの学士力」を身につけられるように教育することを目標とする。 | |
| ①建築学基礎 | ②建築設計 |
| ③建築計画・意匠・歴史 | ④建築構造 |
| ⑤建築材料・生産 | ⑥建築環境・設備 |
| ⑦建築学総合 | |

| 建築デザインコース 学習・教育目標 |
|---|
| 設計力、創造力、表現力を伸ばし、総合的な視点に立って建築空間を設計・提案することができる設計者を養成する。 |

必修科目 選択科目

| 科目群の学習・教育目標 | |
|-------------|--|
|-------------|--|

| | |
|----------------------|---|
| 建築学基礎 及び 建築学総合 | 数学や物理、建築に関する基礎知識を学び、法規や経済などの面から建築学各分野の統合能力を身に付ける。 |
|----------------------|---|

| | |
|-------------------|--|
| 建築計画 ・ 建築設計 | 社会や地域の状況を理解しながら、建物の機能的要求や利用者の生活上の要求を充足するための計画理論と、設計するための手がかりとなり得る計画的知見を修得する。さらに、それらを踏まえながら、創造的に建築空間を設計・提案することができるデザイン力とプレゼンテーション力を身に付ける。 |
|-------------------|--|

| | |
|------|---|
| 建築表現 | 建築分野におけるコンピュータ利用法と建築CADによる表現技術の基礎を習得する。 |
|------|---|

| | |
|----|---|
| 歴史 | 建築の歴史について、ヨーロッパと日本、明治以降の近代に分けて、主に様式史について学び、木の文化と石の文化についても考える。 |
|----|---|

| | |
|-----------------|--|
| 建築材料 ・ 生産 | 建築物を構成する構造材料や仕上材料についての基礎知識を修得後、それらを用いて実際に建築物を造り上げるために必要となる生産技術や生産管理技術について学ぶ。 |
|-----------------|--|

| | |
|------|---|
| 建築構造 | 建物の安全性確保や機能維持を実現するのに必要な力学の基礎知識を修得する。また、各種構造や構法の最新技術について学び、近年多様化しつつある建築構造設計の原理を理解することができる。 |
|------|---|

| | |
|-----------------|--|
| 建築環境 ・ 設備 | 建築における快適性と機能性の確保や、省エネルギーを実現するのに必要な基礎知識を修得する。また、火災時の煙流動や延焼に対する備え、建築外部空間や都市環境に関する基礎知識を修得するとともに、地球環境時代に建築が果たすべき役割を総合的に理解することができる。 |
|-----------------|--|

| | |
|----|--|
| 研修 | 卒業研修の活動を通して企画力・提案力・分析力・表現力などの力を養い、広く社会に適用する人間力を育み、社会に貢献するための確かな自信を身に付ける。 |
|----|--|

